

あきる野市

第22号

町・自連会報

発行/平成25年2月28日 発行者/南 征夫 編集/あきる野市町内会・自治会連合会会報部会

平成二十四年はとても暑い夏でしたが秋の彼岸を境に急に涼しくなりました。このように急激な温度の変化により紅葉も例年に比べて一段と鮮やかになりました。

しかし、また、景気も冷え込んで大変なことです。政権の交代もありましたが、まずこの冷え込んだ景気の回復を願うものです。

私も今年度より初の専任の連合会長となり、もう少し自分の時間が出来るかなと思いましたが、少し思惑違いました。役員の改選で、半分以上の会長さんが変わり、ゼロからスタートした会長さんもたくさんありました。

しかし前年出来なかったスポーツ大会は50の町内会・自治会の皆さんに参加していただき盛大に開催できました。

又暑い盛りの花壇コンクール、市民夏祭りも無事に終わり、救急キット部会、加入促進部会、会報部会も部長の皆さんの活躍、そして各委員さんのご協力により、計画以上



平成二十四年度を振り返って
あきる野市町内会・自治会連合会
会長 南 征夫

に活発に活動を展開していたことができました。

二十四年度は救急医療キットの購入は、市でやっていたいただきましたので、東京都の「地域の底力」の助成金は加入促進活動として使わせて頂き、今年度初めて、産業祭に町内会・自治会コーナーを設けました。成果はまだ見えていませんがまず住民が連帯感を持つて解決すること、顔と顔の見える関係が、益々重要と思えます。そのことが、活性化につながると考えております。これらの活動に十分に弾みのつくような手ごたえも感じられました。あらゆる物に取り組んで見て、最善と思われる方法を見出すことが必要と感じました。

多くの皆さんに、町内会・自治会活動に関心を持っていただき力を合わせて共に暮らしやすい安心安全の街を築いて行きたいと思っております。皆様方のご協力をよろしくお願いたします。

東秋留地区
委員 山口 幸男

あきる野市総合防災訓練が十一月十八日(日)に東秋留地区防災・安心地域委員会の担当区域に当たる前田小学校校庭をメイン会場とし、一五三人の参加を得て盛大に開催されました。

当日、午前八時三十分全日本臨時警報システムを合図に各自自主防災組織は、一斉に一時集合場所へ避難誘導され、参集状況が無線機によって連絡する訓練、安否確認等を実施してから指定避難場所へのほり旗を先頭に集合し、到着後に避難者リストに記帳を行いました。

メイン会場以外で実施している三団体も含め、最終参加人員が報告されました。未加入団体も参加されていたので嬉しく思いながら避難訓練は終了しました。

また、会場では防災コンクールや市が計画した訓練を体験するなどして全て終了し



前田小学校への避難

西秋留地区
委員 中村 勇

総合防災訓練(一地区は十一月二十五日)に合わせ、各町内会・自治会の一斉避難場所、また、市指定避難所での「避難者カード」記入、無線連絡、給食、初期消火、AED、負傷者搬送、高齢者への

◆平成二十四年度 あきる野市総合防災訓練 特集

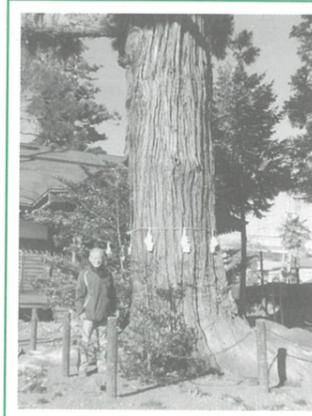
今後は、訓練実施結果と防災計画の相違を検証し、自分たちの街に相応しい計画の実現を目指していきたいと思えます。

平成二十四年度 あきる野市表彰

多年にわたり、町内会長・自治会長として、市政の推進に貢献された十三名の方が、平成二十四年十一月三日まほろばホールにおいて表彰されました。

- 自治功労賞
 - 宮崎 幹夫(小川)
- 市民表彰
 - 小野澤健一(山田中分)
 - 高橋 和久(小中野)
 - 山崎 透一(落合)
 - 小峰 秀夫(戸倉西部)
 - 唐澤 貞文(緑の里)
 - 小林 義直(上館谷)
- 渡部 好昭(秋留台)
- 沖倉 時代(寺岡)
- 大久保春彦(中平)
- 三光坊輝雄(五日市入野)
- 橋本 好夫(折立)
- 中村 裕(森ノ下)

地域の話題



牛沼地区
秋川神社の杉の太木

自治会紹介 平成23・24年度 花壇コンクール最優秀賞

油平自治会 文化・福祉部長 細谷 充博

油平自治会では花壇の管理は文化・福祉部6名の担当となっており、本部役員の協力を得て日々活動しています。

5月、花いっぱい運動の日の前週に集まり前回の花の回収、雑草の除去、土作りを行いました。運動日当日は、一斉清掃を終えた方々の協力も得て、部員の考案した23年度デザイン・テーマ「想いはひとつがんばろう日本」24年度デザイン・テーマ「復興の想いとどけ光の輪」の基、花の植栽をしました。花壇に、段差を設けてアクセントをつけて一本一本丁寧に植え付け、素人ながら見事な花壇が完成しました。

「終わった…」達成感と安堵の気持ちに満たされましたが、ここからが本当の苦勞の始まりでした。

部員6名と本部役員にも加わっていただき曜日で分担して毎日、水やり、雑草・枯れ花取りをすることになりました。生き物相手の

ため夏場は朝か夕方、猛暑の日は朝夕2回自分の担当の曜日が近づくと雨乞いしてみたり、帰宅が深夜になっても責任感と義務感にかられて暗闇の中、水かけに行きました。また水栓が花壇から離れているため、重くて長いホースを毎回出し入れするのもとても重労働でした。

そんなメンバーの努力の甲斐もあってか2年連続最優秀賞をいただく事が出来ました。

自治会の花壇は秋川駅南口徒歩一分の好立地にありますので、お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



想いはひとつ がんばろう 日本

役員会・全体会の 連絡協議報告事項

- 平成二十四年
- 八月十五日(役員会)
 - 視察研修会の計画
 - 地域の底力再生の助成について
 - 九月十九日(役員会)
 - 部会活動報告
 - △中学生の主張大会の協力依頼について
 - △個人情報保護制度説明会参加について
 - 十月十七日(全体会)
 - 部会活動報告
 - 視察研修会日程報告
 - △国民体育大会競技リハール大会報告
 - △地域懇談会について
 - 十一月六・七日(視察研修会)
 - 中央防波堤埋立処分場
 - あきる野市一斉清掃について
 - △あきる野市総合防災訓練について
 - △行政配布物の配達委託料
 - △行政配布物の配布委託料支払いについて
 - 十一月二十一日(役員会)
 - 加入促進ポスター・のほり旗等配布
 - 新年会について
 - 新年会について
 - 部会活動報告
 - 日帰り視察研修について
 - 西多摩地区自治会連合会
 - 会長会研修について
 - △平成二十四年度地域懇談会質疑応答及び意見・提案集について
 - △民生委員・児童委員及び主任児童委員一斉改選について

編集後記

寒さの大変厳しかった今年の冬も梅の花の香りと共に緩んできました。

そして、三回目の三月十一日が間もなく廻ってきます。

三陸沖を震源とした大地震に伴う大津波と原発事故により、故郷などに戻れない方が三十二万人以上(十二月現在)と言われています。

犠牲者のご冥福と一日も早い復旧復興を心よりお祈りいたします。

今会報は昨春秋実施されたあきる野市総合防災訓練や各地区で実施された防災訓練の様子を中心に編集いたしました。各町内会や自治会の安全で安心して生活できる地域づくりに、災害発生時の「自助」と「共助」の備えを培う参考になればと思います。

(会報部会 野崎 忠)

△あきる野市地域防災リーダー登録者について
●二月十八日(新年会)
○ルビアホール

(注) ○印は、連合会の協議報告事項
△印は、市からの連絡事項
(会報部会 山中利勝)

給食・安否確認、隣組安否確認表等による訓練を西秋留地区内十町内会・自治会加入三一二五世帯を対象に地域性を加味し実施しました。

防災訓練参加者一五四六名、その他各種団体のご協力と地域住民の防災への関心と理解の高まりによる有意義な訓練が出来ました。

多西地区

羽ヶ田町内会

会長 荒井 一雄

二十四年度の「東京都地域の底力再生事業助成」を受け、「地域の防災力向上をはかり安心できる町づくり」をテーマに掲げ、多西小学校を会場に参加者・協力団体関係者計一五〇人による訓練を実施しました。

内容は秋川消防署指導による担架取扱い実習、日赤指導員による応急救護、日赤奉仕団の炊き出し、消防団の消火栓・消火器実習、自主防災組織メンバーを中心にエンジンチェーンソー実習・災害時のロープの結び方・発電機を使用し井戸水を汲み上げてのパケツリレーによる消火活動・組別避難者確認作業・無線機による伝達訓練を実施し、最



消火訓練

後に防災ビデオを観て、防災意識を常に持つことの大切さを再確認しました。

そして今回、避難カードの作成に力を入れ、全世帯にカードを配布し、回収率八五%という会員の協力を得られた事は、カードを提出することにより会員の防災意識が高まったことと思います。

災害時の人力には限界があり、より充実した地域の防災力向上を図らなければなりません。防災力の自信を持つことで安心して暮らせる町づくりになると思います。

今後も、災害時に冷静な行動が出来る訓練を実施して行きたいと思っています。

増戸地区

増戸地区防災・安心地域委員会

委員長 大久保春彦

平成二十四年十月三十一日(水)増戸地区では「増戸地区・小中学校合同防災訓練」を実施した。平日開催の小中学校との合同訓練と初めての試みであったが地域・学校・子供達の協力により実のある訓練が実施できた。



教室から各自治会別に避難

地域住民・小学生・中学生・学校職員等、一二七名の参加の基、市指定避難場所である学校校庭への参集、受付、ガムテープによる名札作成等の後、避難所(体育館)への避難、点呼訓練を実施した。

その後、ダンボール間仕切組立、小型ポンプ・消火器に



小中学生も自治会毎に集合

よる消火、小学生五・六年生の救命救護等の各種訓練により災害時対応の基本を学んだ。

今回の訓練で特徴的な事は、校庭への参集時、地域住民・小中学生が自治会毎に整列して安否確認した事と、中学二年生全員が役割を持って訓練した事が上げられる。

平日に災害が発生した場合、両親が仕事等で直ぐに来られない時に、子供達は顔見知りの大人達の顔を見る事により安心感を抱くと思われる。また、中学生は地域の大きな力であり、積極的な活動が見られた。今年度、増戸地区防災・安心地域委員会では

「地域と学校の連携強化」を重点目標として活動しており、これまで「避難所(体育館)での宿泊体験」「自治会毎に大人と子供が一緒の防災マップ作り」を実施したが、今回の防災訓練は、地域と学校が一体となって取組んだ最大のイベントであり、準備段階の会合を含め、地域と学校の連携が図られ、今後の活動に繋がる訓練となった。

増戸小・増戸中は今年度都安全教育推進校に指定され、地域と一体となって取組む防災教育は高い評価を得ており、今後も地域と学校の連携強化を図っていきたい。

「増戸地区防災標語」入選作品

- 一般の部
災害時頼りになるのは隣組
大久保春彦
(中平自治会)
- 中学生の部
防災マップ
地域の危険を把握する
田中 純菜
(中学校二年生)

- 小学生の部
きめておこう
かぞくみんな
あえるばしょ
木口 愛菜
(小学校二年生)

五日市地区

五日市地区防災・安心地域委員会

委員長 今野 治雄

自助から共助、そして公助へ、平成二十四年度あきる野市総合防災訓練の一環として、五日市地区は十月二十八日小雨模様の中、消防団第五分団、秋川消防署の協力と指導のもと、住民参加者六四〇名余を得て、各町内一時集会所からメイン会場の五日市中学校校庭の間で実施しました。

訓練内容は、住民自らの行動、相互の連携、町内自主防災組織の活性化を目的とした「避難訓練」および災害時に想定される防災行動パターンを競技化して参加者も同時に疑似体験のできる「防災コン



五日市中学校へ避難

クール」を二大テーマとしました。

自宅での身の安全確保、一時集会所での近所の安否と被害状況の確認と救助、その後の消防団員の誘導による避難訓練や各自治会で新たに導入のリヤカーを使った避難や本部との無線機での避難状況の伝達訓練等、多彩な内容でした。



防災コンクール

今後も繰り返し訓練し、住民の絆が主役の防災活動の推進が大切と考えます。

戸倉地区

戸倉地区防災・安心地域委員会

委員長 小峰 秀夫

十一月十八日あきる野市総合防災訓練の日、戸倉地区自治会では、地形的に分割されている五ヶ所の避難場所への避難と要援護者及び安否の確

小宮地区

小宮地区防災・安心地域委員会

委員長 市川六太郎

小宮地区では、防災安心地域委員会と消防団が中心となり、地震発生災害時の訓練を行った。

これには、各自治会より13チームが参加され、防災コンクールと同様の方法で実施した訓練をすることができた。

あきる野市町内会・自治会ガイドブック

あきる野市町内会・自治会ガイドブックをインターネットでご覧下さい。

町内会・自治会の活動に対する補助申請手続等やあきる野市町内会・自治会に加入している団体の活動状況が紹介されています。

「市のホームページ」又は、「あきる野市町内会・自治会ガイドブック」検索をご覧ください。

町内会・自治会加入の問合せ先

地域防災課地域振興係
042(558)1111
(内線)2341・2344

第2回防災コンクールの報告

あきる野市防災・安心地域委員会
本部長 倉田 克治

第2回防災コンクールは12月2日五日市会館で行いました。防災コンクールの目的は防災意識の高揚と発災時被害を最小に留める啓発活動で、災害時に必要な活動内容が網羅されていて簡単に会得出来るため誰でも取り組める内容です。結果、1位から3位は、増戸B、増戸C、戸倉Aの順でしたが僅少差でした。今年は昨年よりレベルがあがり中身の濃い素晴らしい競技でした。



平成二十四年度連合会視察研修報告

幹事長 伊井 晴美

あきる野市町内会・自治会連合会の視察研修を十一月六日・七日に実施いたしました。参加者は五十四名でした。

この度の視察研修は東京二十三区から出されたゴミを最終的に埋立てる中央防波堤埋立処分場を視察しました。内側埋立地・外側処分場・新海面処分場で構成されておりその大きさは東京ドームの百八十七倍の広さとなります。

最初に館内で最終埋立処分までの工程を映像を観ながら説明を聞いた後、バスに移動

し、あまりにも広い処分場の中をガイドさんの丁寧な説明を受けながら各施設を見学いたしました。地球環境問題が取りざたされている中、省エネルギー・省資源を推進する意味でも、今回の視察研修を通して一人一人が環境問題に対しての意識を持つことが出来たのかなと感じております。

また、各会長さんが日頃の町内会・自治会活動について、互いに情報交換が出来たことなど、とても有意義な研修旅行でした。